

資料

資料 1	横浜市立市民病院再整備検討委員会要綱・名簿	1
資料 2	施設概要	3
資料 3	市民病院建築物定期検査報告書 抜粋	4
資料 4	市民病院狭あい化の現状	6
資料 5	地域医療支援病院平均在院日数・市民病院延患者数推計	7
資料 6	市民病院再整備 部門別面積試算	8
資料 7	区別紹介患者数・医療機関数	9
資料 8	市民病院の退院患者・外来新患者分布	10
資料 9	各候補地と他病院の位置関係	12
資料 10	各候補地基本情報 資料 10-1～5 各候補地の地図	14
資料 11	市民病院・三ツ沢公園が一体となった防災機能強化案について	22
資料 12	現在地建て替えの工程と課題	24
資料 13	市民病院の周辺交通への影響予測	25
資料 14	新桜ヶ丘地区周辺の協議会等	26
資料 15	開発許可基準と新桜ヶ丘地区の接続道路	27
資料 16	津波からの避難に関するガイドライン 別紙 避難区域対象図 抜粋	28
資料 17	横浜市民地震防災情報「わいわい防災マップ」 抜粋	29
資料 18	横浜市農業施策現況図 抜粋	30

横浜市立市民病院再整備検討委員会設置要綱

平成 24 年 5 月 29 日

(設置)

第 1 条 横浜市立市民病院の再整備に関し、横浜市の医療政策やまちづくりなど全市的な視点から議論を行うため、横浜市立病院再整備検討委員会(以下「検討委員会」という。)を置く。

(検討委員会の所掌事務)

第 2 条 検討委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 市民病院の再整備に関する事
- (2) 市民病院の再整備候補地の選定に関する事
- (3) 前 2 号に定めるもののほか、前条の目的を達成するために必要な事項

(検討委員会の組織)

第 3 条 検討委員会は、委員長及び委員をもって組織する。

2 検討委員会の委員長は、健康福祉局医療政策室長をもって充てる。

3 検討委員会の委員は、温暖化対策統括本部長、政策局長、財政局長、健康福祉局長、環境創造局長、建築局長、都市整備局長、道路局長、病院事業管理者、病院経営局長をもって充てる。

(検討委員会の委員長の職務)

第 4 条 委員長は、検討委員会を代表し、検討委員会の事務を総理する。

(検討委員会の会議)

第 5 条 検討委員会は、必要に応じて委員長が招集し、主宰する。

2 委員長は、第 1 条の目的を達成するため、必要と認めるときは、検討委員会の議事に関係職員を参与させることができる。

(関係課長会)

第 6 条 委員長は、所掌事務を審議するため必要がある場合は、作業部会として関係課長会を置くことができる。

2 課長会は、審議事項に応じ委員長が必要と認める者をもって構成する。

(庶務)

第 7 条 検討委員会の庶務は病院経営局総務部経営経理課において処理する。

(実施細則)

第 8 条 この要綱に定めるもののほか、検討委員会に関し必要な事項は委員長が定める。

附 則

この要綱は、平成 24 年 5 月 29 日から施行する。

横浜市立市民病院再整備検討委員会 委員名簿

	役 職	氏 名
委員長	健康福祉局医療政策室長	増住敏彦
	温暖化対策統括本部長	浜野四郎
	政 策 局 長	小林一美
	財 政 局 長	柏崎誠
	健 康 福 祉 局 長	岡田輝彦
	環 境 創 造 局 長	荻島尚之
	建 築 局 長	坂和伸賢
	都 市 整 備 局 長	中田穂積
	道 路 局 長	友田勝己
	病 院 事 業 管 理 者	高橋俊毅
	病 院 經 営 局 長	城博俊

(平成 24 年 5 月 29 日現在)

施設の概要

資料2

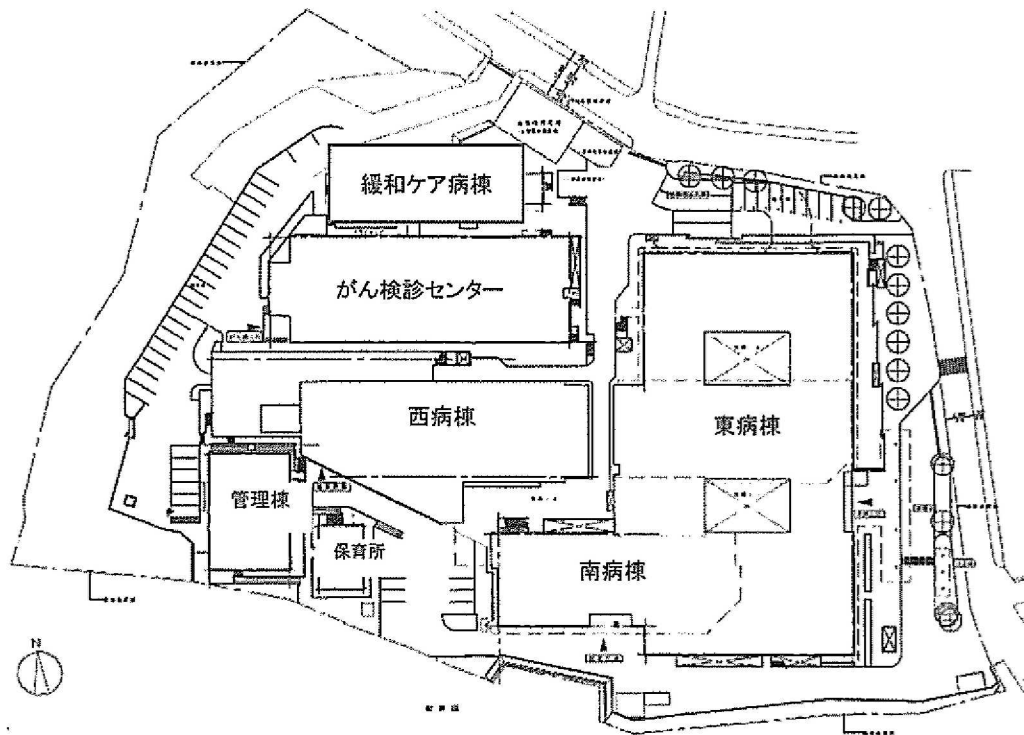
◆所在地

横浜市保土ヶ谷区岡沢町56番地

◆施設の概要




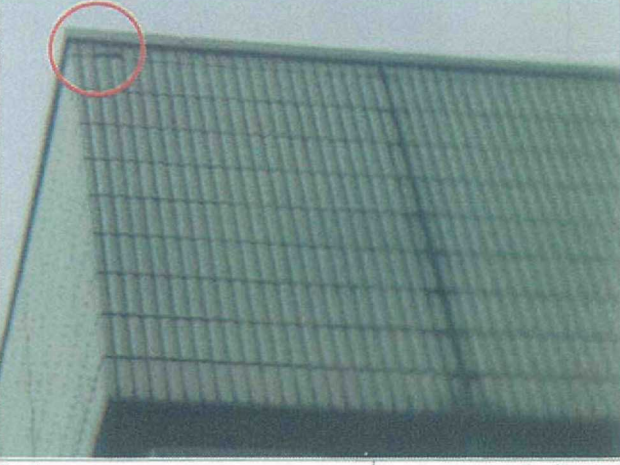
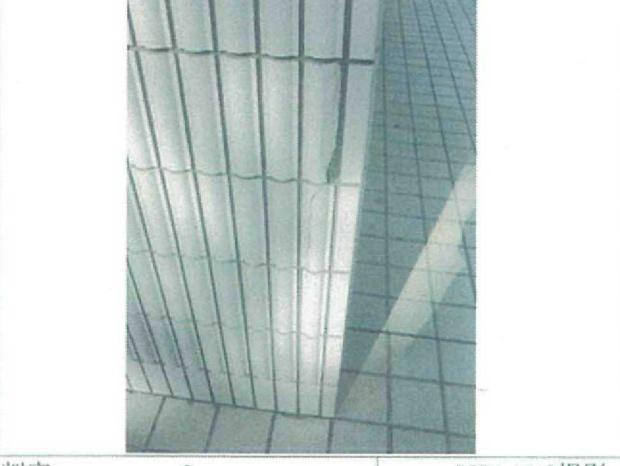

敷地面積	20,389㎡		
延床面積	43,248㎡		
南病棟	17,135㎡	地下3階地上8階	(昭和61年11月竣工)
東病棟	10,322㎡	地下3階地上5階	(平成元年3月竣工)
西病棟	9,119㎡	地下2階地上5階	(平成3年8月竣工)
緩和ケア病棟	716㎡	地下1階地上2階	(平成21年3月竣工)
がん検診センター	4,212㎡	地下1階地上4階	(昭和56年3月竣工)
管理棟	1,166㎡	地上3階	(昭和57年12月竣工)
その他	578㎡		

◆位置図



写真集(南病棟)ー1

B. 外壁関係

<p>南 1 (場所) 塔屋2階 階段室外壁</p> 	<p>南 2 (場所) 8階上部 ハラベット下外壁(X1-Y4)</p> 
<p>判定 A H21.11.4撮影 (状況) コンクリート剥落、鉄筋露出。 130</p>	<p>判定 A H21.11.4撮影 (状況) タイルひび割れ、一部浮き落下の危険性あり。 外壁汚れ。 142</p>
<p>南 3 (場所) 8階上部 西側外壁</p> 	<p>南 4 (場所) 2階上部 東南角外壁</p> 
<p>判定 A H21.11.10撮影 (状況) タイル剥落。 外壁汚れ。 665</p>	<p>判定 A H21.11.5撮影 (状況) タイルひび割れ、剥落。 外壁汚れ。 266</p>
<p>南 5 (場所) 1階 南東角外壁</p> 	<p>南 6 (場所) 1階 東南角外壁</p> 
<p>判定 A H21.11.9撮影 (状況) タイルひび割れ、剥落。 400</p>	<p>判定 A H21.11.9撮影 (状況) タイルひび割れ、剥落。 399</p>

写真集(西病棟) - 14

D. 建物内部

<p>西 79 (場所) 3階 廊下天井(洗面・洗髪コーナー)</p> 	<p>西 80 (場所) 地下1階 廊下壁</p> 
<p>判定 D H21.11.12撮影 (状況) 漏水跡あり。</p>	<p>判定 D H21.11.9撮影 (状況) 壁塗装下地モルタルのひび割れ。</p>
<p>西 81 (場所) 階段室(東側) 壁(地下2～地下1階)</p> 	<p>西 82 (場所) 階段室(東側) 壁(地下2～地下1階)</p> 
<p>判定 D H21.11.9撮影 (状況) 壁塗装下地モルタルのひび割れ。</p>	<p>判定 D H21.11.9撮影 (状況) 壁塗装下地モルタルのひび割れ。</p>
<p>西 83 (場所) 階段室(西側) 壁(4～5階)</p> 	<p>西 84 (場所) 階段室(西側) 前室壁(5階)</p> 
<p>判定 D H21.11.9撮影 (状況) 壁塗装下地モルタルのひび割れ。</p>	<p>判定 D H21.11.9撮影 (状況) 壁塗装下地モルタルのひび割れ。</p>



1 地域医療支援病院 平均在院日数

	平均在院 日数※	縮減率
平成18年	14.9	
平成19年	14.9	0.00%
平成20年	14.5	2.68%
平成21年	14.3	1.38%
平均		1.35%

※平成22年度第9回診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会資料より抜粋

2 市民病院 延患者数推計

	平均在院日数	DPC退院患者数	退院 患者数		延患者数 (一般病床)	1日平均 患者数
	A	B	C	D	E	F
平成21年実績	13.0	14,612	15,086	96.86%	196,239	538
平成22年推計	12.82	14,839	15,320	96.86%	196,402	538
平成23年推計	12.65	15,036	15,524		196,379	538
平成24年推計	12.48	15,285	15,781		196,947	540
平成25年推計	12.31	15,518	16,021		197,219	540
平成26年推計	12.14	15,751	16,262		197,421	541
平成27年推計	11.98	15,981	16,499		197,658	542
平成28年推計	11.82	16,202	16,728		197,725	542
平成29年推計	11.66	16,416	16,949		197,625	541
平成30年推計	11.50	16,605	17,144		197,156	540
平成31年推計	11.34	16,783	17,327		196,488	538
平成32年推計	11.19	16,913	17,462		195,400	535
平成33年推計	11.04	16,995	17,546		193,708	531
平成34年推計	10.89	17,192	17,750		193,298	530
平成35年推計	10.74	17,393	17,957		192,858	528
平成36年推計	10.59	17,591	18,162		192,336	527
平成37年推計	10.45	17,758	18,334		191,590	525
平成38年推計	10.31	17,893	18,473		190,457	522
平成39年推計	10.17	18,012	18,596		189,121	518
平成40年推計	10.03	18,119	18,707		187,631	514
平成41年推計	9.89	18,212	18,803		185,962	509
平成42年推計	9.76	18,310	18,904	184,503	505	
			B÷D	(C÷D)	A×C	E÷365日
推計方法	市民病院平成21年度を基に1による平均在院日数の縮減率(1.35%/年)により推計	平成21年度(7~3月を通年換算)市民病院DPCデータ(疾患別・年齢階層別)より、横浜市人口推計による各階層の人口増減率を乗じ推計	H21年度退院患者数と左記DPCデータによる患者数の差(割合:96.86%)より、各年度の実患者数を推計		左記退院患者数と平均在院日数の推計値を乗じ推計	

市民病院再整備 部門別面積試算

資料6

	現状						増減 (ケース① -現状)		ケース②(将来構想) 将来構想に基づく数量の増加 (網掛け部分が増加部分)				増減 (ケース② -ケース①)	
	面積	数量	単位あたり 面積	ケース①		面積	面積	率	数量	単位あたり 試算面積	備考	試算面積	数量	面積
				現状の設置等を基に単位当たりの 面積について拡張	算出方法等									
病棟部	14,971㎡	650床	23.0㎡/床	31.9㎡/床		20,732㎡	5,760㎡	38%	650床	32.1㎡/床		20,855.7㎡	0床	124㎡
一般病棟 (感染症、緩和 ケア含む)	14,193㎡	610床	23.3㎡/床	31.1㎡/床	☆(病棟部 平均面積)	18,971㎡	4,778㎡	34%	598床	31.1㎡/床		18,597.8㎡	△12床	△373㎡
ICU/CCU (SCU)	425㎡	14床	30.3㎡/床	64.7㎡/床	☆	906㎡	481㎡	113%	17床	64.7㎡/床	SCU設置	1,099.9㎡	3床	194㎡
NICU	68㎡	6床	11.3㎡/床	38.8㎡/床	※1	233㎡	165㎡	243%	9床	38.8㎡/床		349.4㎡	3床	116㎡
救急	286㎡	20床	14.3㎡/床	31.1㎡/床	☆(病棟部 平均面積)	622㎡	336㎡	117%	26床	31.1㎡/床	救命救急 センター増 床	808.6㎡	6床	187㎡
外来部	2,661㎡			4,730.2㎡	☆	4,730㎡	2,070㎡	78%		4,730.2㎡		4,730.2㎡	0	0㎡
診療部	4,766㎡			8,697.8㎡	☆	8,698㎡	3,932㎡	82%				9,906.0㎡	0	1,208㎡
手術部	976㎡	9室	108.4㎡/室	190.1㎡/室	☆	1,711㎡	735㎡	75%	15室	190.1㎡/室	増設	2,852㎡	6室	1,141㎡
分娩部	112㎡	2室	55.8㎡/室	67.6㎡/室	☆	135㎡	24㎡	21%	3室	67.6㎡/室	増設	203㎡	1室	68㎡
その他 (検査部 門、放射線 部門等)	3,679㎡					6,852㎡	3,173㎡	86%				6,852㎡	0	0㎡
供給部	5,416㎡			7,412.0㎡	☆	7,412㎡	1,997㎡	37%		7,412.0㎡		7,412㎡		0㎡
管理部	4,680㎡			5,885.0㎡	☆	5,885㎡	1,205㎡	26%		5,885.0㎡		5,885㎡		0㎡
共用部	6,302㎡			8,704.4㎡	☆	8,704㎡	2,402㎡	38%		8,704.4㎡		8,704㎡		0㎡
計(除くがん検 診センター等)	38,796㎡	650床	59.7㎡/	86.4㎡/床		56,161㎡	17,365㎡	45%	650床	88.5㎡/床		57,493.2㎡	0床	1,332㎡
対象外面積(が ん検診センター (含む会議室 等)、保育所)	4,461㎡			4,461㎡	現状同面積	4,461㎡	0㎡	0%		4,461㎡	現状同面積	4,461㎡		0.0㎡
合計	43,257㎡	650	66.5㎡/	93.3㎡/床		60,622㎡	17,365㎡	40%	650床	95.3㎡/床		61,954㎡	0床	1,332.2㎡

診療部: 検査部門、放射線部門、手術部門等
 供給部: 薬剤部、材料滅菌室、給食部等
 管理部: 医局、当直室、会議室、事務室、厚生関係等
 共用部: 玄関ホール、地下駐車場等

☆印は「病院の部門別面積に関する研究報告書【(社)日本医療福祉建築協会 刊】」より、
 2001年以降に竣工した500床以上の病院平均値(部門別への分割にあたり、全体面積(43,248
 ㎡)と誤差が生じています)

※1 ICU/CCU部平均面積 × (9㎡【NICU施設基準】 ÷ 15㎡【ICU施設基準】)

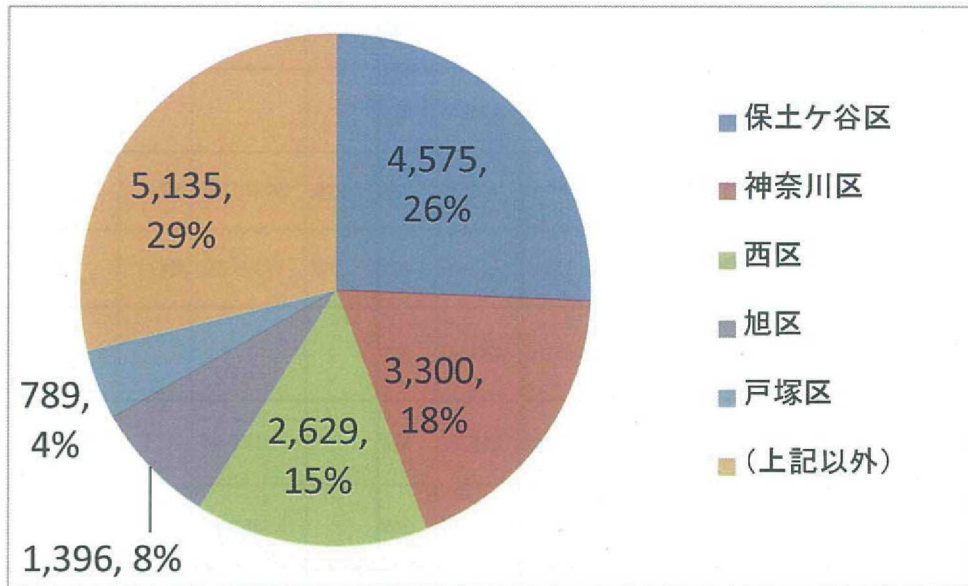
2001年以降に竣工した病院の平均面積を参考にすると、1床あたり186.4㎡(除くがん検診センター)程度となり、現状から4割程度増加することとなる。さらに、将来構想により診療機能を増加させた場合、1床あたり188.5㎡程度となり、1,300㎡程度増加することとなる。

区別紹介患者数・紹介元医療機関数

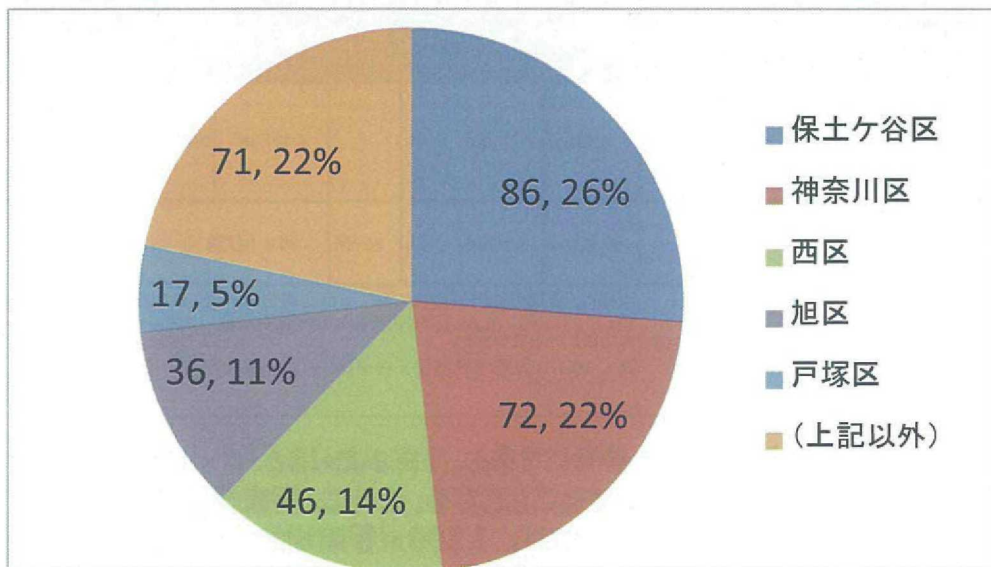
資料7

	紹介患者数		主な医療機関数 (紹介数10以上)	
	紹介患者数	割合	割合	
保土ヶ谷区	4,575	25.7%	86	26.2%
神奈川区	3,300	18.5%	72	22.0%
西区	2,629	14.7%	46	14.0%
旭区	1,396	7.8%	36	11.0%
戸塚区	789	4.4%	17	5.2%
(上記以外)	5,135	28.8%	71	21.6%
(合計)	17,824	100.0%	328	100.0%

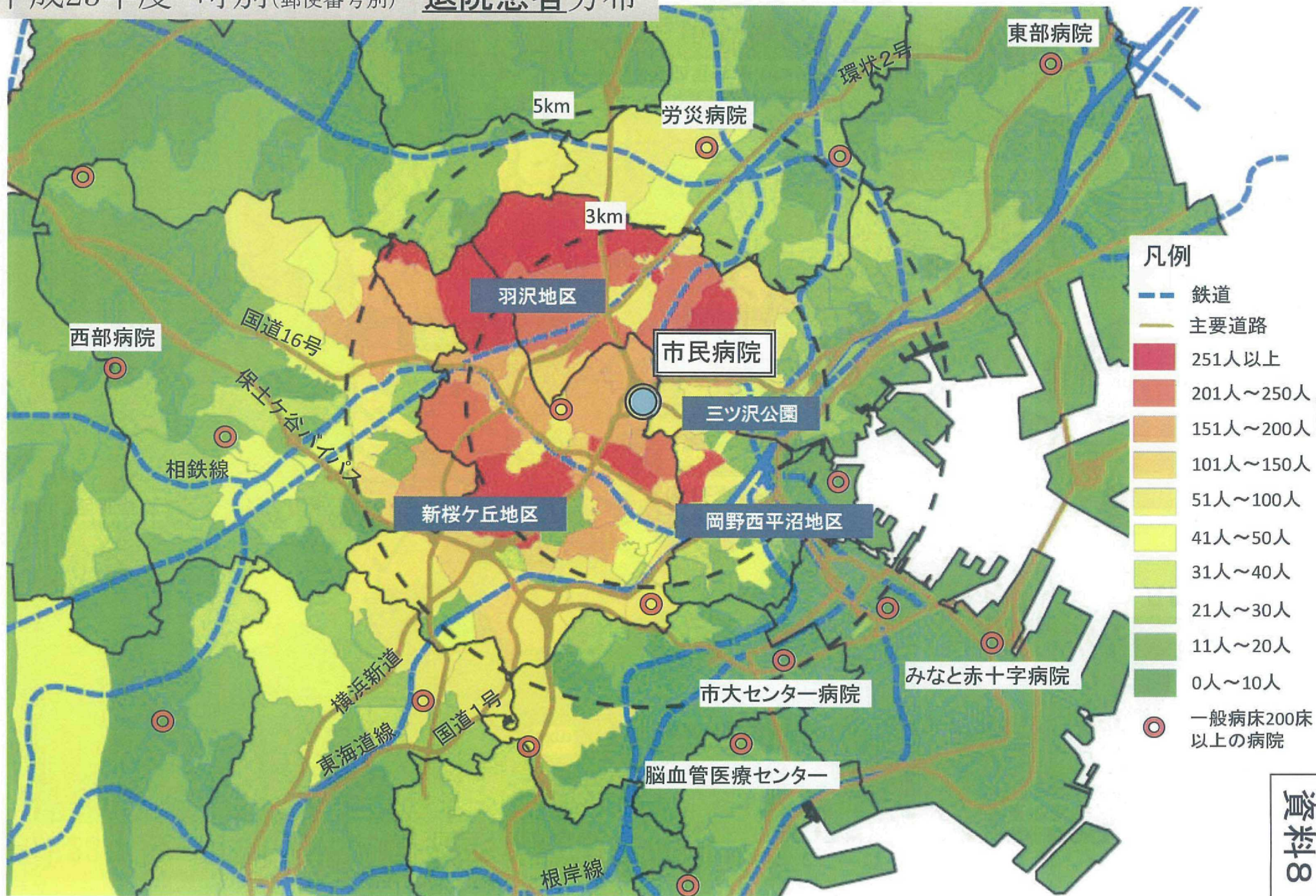
(紹介患者数)



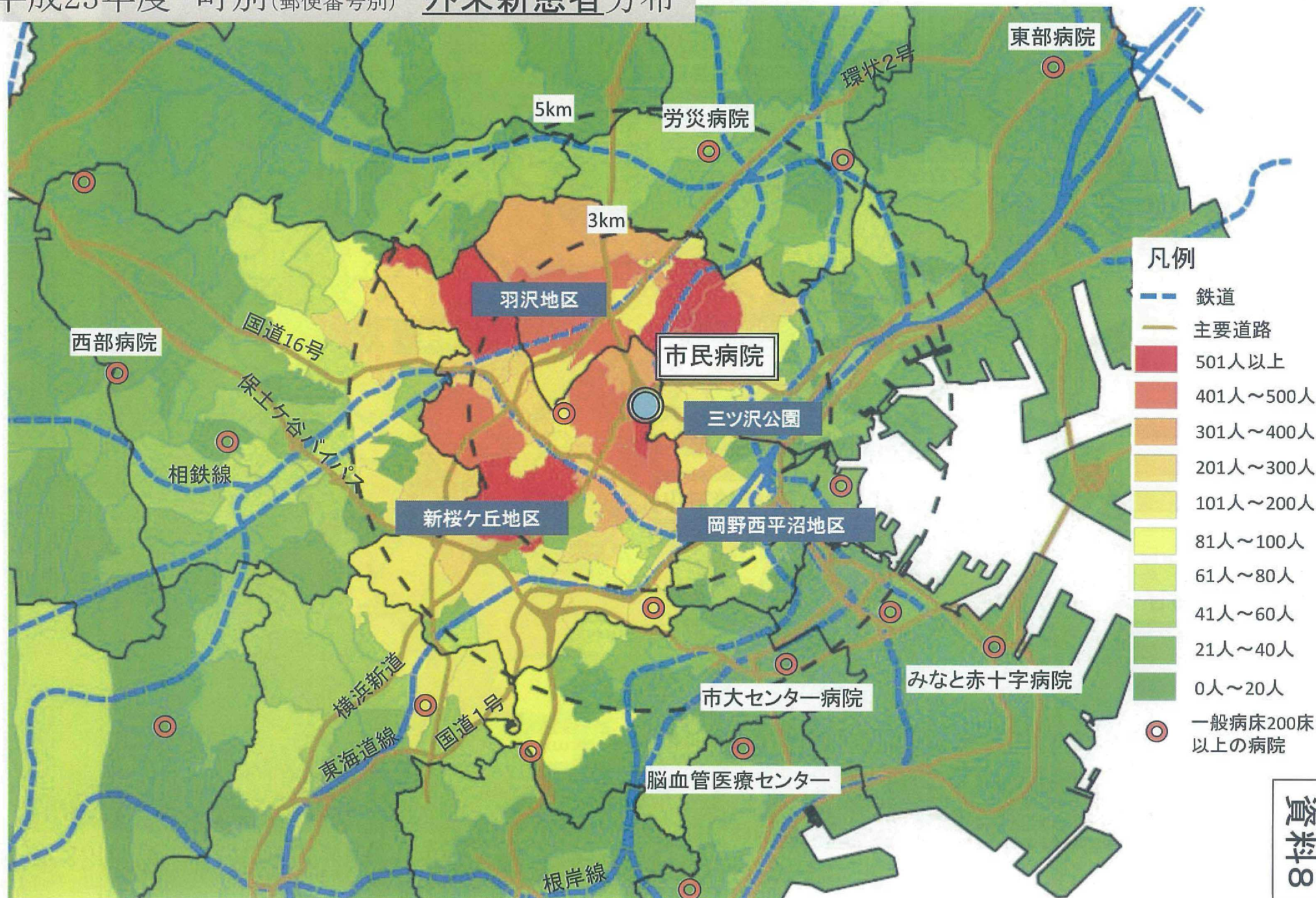
(主な医療機関数)



平成23年度 町別(郵便番号別) 退院患者分布



平成23年度 町別(郵便番号別) 外来新患者分布



- 凡例
- 鉄道
 - 主要道路
 - 501人以上
 - 401人～500人
 - 301人～400人
 - 201人～300人
 - 101人～200人
 - 81人～100人
 - 61人～80人
 - 41人～60人
 - 21人～40人
 - 0人～20人
 - 一般病床200床以上の病院

候補地と他病院の位置関係



	現病院敷地内での建替え	三ツ沢公園	新桜ヶ丘地区	岡野西平沼地区	羽沢地区	
基礎情報	所在地	保土ヶ谷区岡沢町	神奈川県三ツ沢西町、三ツ沢南町 保土ヶ谷区岡沢町、鎌谷町	保土ヶ谷区新桜ヶ丘、藤塚町	西区岡野、西平沼町、浅間町、南浅間町、平沼、中央、戸部本町、桜木町等	神奈川県羽沢町、羽沢南、三枚町 保土ヶ谷区鎌沢町、常盤台など
	敷地面積	20,389㎡	公園面積：約300,000㎡	約47,000㎡	—	—
	地形	—	平坦、斜面地	平坦、斜面地	平坦	平坦、斜面地
	現状	現市民病院	都市公園(運動施設、体育館、樹林地等)	更地、樹林地	住宅地、商業地、工場、学校等	農地、住宅地、樹林地等
	近隣の状況	住宅地(一住、市街化調整区域)、公園	住宅地(北東、南西は一低専、北西、南東は一住)	住宅地(一低専、一住)、高速道路	住宅地、商業地	農地、住宅地等
都市計画等	用途地域	第一種住居地域、準住居地域	第一種住居地域、第一種低層住居専用地域	第二種住居地域、第一種低層住居専用地域、第一種住居地域	商業地域、近隣商業地域、工業地域、準工業地域、第一種住居地域	市街化調整区域・準工業地域・第一種住居地域、第一種低層住居専用地域等
	建ぺい率/容積率	60% / 200%	60% / 200%、40%/80%	第二種住居地域、第一種住居地域：60% / 200% 第一種低層住居専用地域：50% / 80%	商業地域：80% / 400%、500% 近隣商業地域：80% / 300% 工業地域、準工業地域、第一種住居地域：60% / 200%等	市街化調整区域：50% / 80%等 準工業地域・第一種住居地域：60% / 200% 第一種低層住居専用地域：50% / 80%等
	高度地区(最高限)	第4種高度地区(20m)	第4種高度地区(20m)、第1種高度地区(10m)	第二種住居地域、第一種住居地域：第4種高度地区(20m) 第一種低層住居専用地域：第1種高度地区(10m)	商業地域：第7種高度地区(31m) 近隣商業地域：第6種高度地区(20m) 工業地域、準工業地域：第5種高度地区(20m) 第一種住居地域：第4種高度地区(20m)	準工業地域：第5種高度地区(20m) 第一種住居地域：第4種高度地区(20m) 第一種低層住居専用地域：第1種高度地区(10m)
	その他	緑化地域 準防火地域	緑化地域、建ぺい率40% 第3種風致地区(最高限10m) 第4種風致地区(最高限15m)、 準防火地域	緑化地域 準防火地域	防火地域(一部) 準防火地域(一部) 駐車場整備地区(一部)	準防火地域(一部) 農業専用地区(一部) 風致地区(一部) 農業振興地域 農用地区域(一部)
	都市計画施設	都市計画河川 第22号帷子川分水路(当初決定S58.2.25)	都市計画公園(運動公園) (当初決定S18.5.13 約21.45ha) (最終変更H 8.2.2 約27.8 ha)	都市計画河川 第22号帷子川分水路(当初決定S58.2.25)	都市計画公園(運動公園) (地上権設定(一部)：鉄道施設物設置のため、建物その他工作物を設置する場合の荷重は1㎡当り6トン以下とする。)	都市計画道路 3・2・2号 羽沢池辺線
アクセス	最寄駅(最短経路)	市営地下鉄 三ツ沢上町駅(800m、徒歩10分) 横浜駅 (市営・相鉄バス3.3km「市民病院前」下車)	市営地下鉄 三ツ沢上町駅 (正面入口まで1.2km、徒歩15分) 横浜駅 (市営・相鉄バス2.0km「三ツ沢総合グランド入口」下車)	JR横須賀線 保土ヶ谷駅 (相鉄バス4.8km「新桜ヶ丘東」下車) 相鉄線 星川駅 (相鉄バス3.1km「新桜ヶ丘東」下車) JR横須賀線 東戸塚駅 (相鉄バス3.4km「藤塚町」下車)	相鉄線 平沼橋駅(地区内) 相鉄線 西横浜駅、京急本線 戸部駅	横浜羽沢駅(地区内、JR東海道貨物線) 羽沢駅(地区内、神奈川東部方面線) 市営地下鉄 三ツ沢上町駅 (横浜羽沢駅北側出入口まで1.8km、徒歩22分) ※神奈川東部方面線の開通がJR：H27、東急：H31予定。
	横浜駅からの道路距離	約2.6km	約2.0km(公園正面入口まで)	約6.5km(新桜ヶ丘東バス停まで)	約1.1km(平沼高校前交差点まで)	約4.8km(横浜羽沢駅北側出入口まで)
	接続道路(幅員)	豊額寺保土ヶ谷線7034(8.7m) 鎌沢277(9.6m)	三ツ沢24(10.5m)	川島岩間線7145(8.95m)	—	—
	最寄IC(出口からの最短経路)	第三京浜、横浜新道、首都高 保土ヶ谷IC(病院正面まで350m)	首都高 三ツ沢IC(公園正面入口まで130m) 第三京浜、横浜新道、首都高 保土ヶ谷IC(公園正面入口まで400m)	横浜新道 藤塚IC(現地まで200m)	首都高速 横浜駅東口IC(平沼高校前交差点まで1.6km) みなとみらいIC(平沼高校前交差点まで2.4km) ※横浜駅東口ICは南側からの出入口のみ。	第三京浜 羽沢IC(横浜羽沢駅北側出入口まで300m) ※羽沢ICは東京側の出入口のみ。
医療	二次医療圏	西部医療圏	北部医療圏、西部医療圏	西部医療圏	西部医療圏	北部医療圏、西部医療圏
	周辺の病院(200床以上、直線距離)	船員保険病院(260床、1.5km) けいゆう病院(410床、3.3km) 聖隷横浜病院(300床、3.4km) 横浜労災病院(650床、4.3km)	船員保険病院(260床、公園正面入口まで約2km) けいゆう病院(410床、公園正面入口まで約2.7km) 聖隷横浜病院(300床、公園正面入口まで約3.1km) 市大センター病院(726床、公園正面入口まで約4.4km)	船員保険病院(260床、新桜ヶ丘東バス停まで2.5km) 東戸塚記念病院(292床、新桜ヶ丘東バス停まで2.5km) 聖隷横浜病院(300床、新桜ヶ丘東バス停まで3.3km)	けいゆう病院(410床、平沼高校前交差点まで1.7km) 聖隷横浜病院(300床、平沼高校前交差点まで2.2km) 市大センター病院(726床、3.1km)	船員保険病院(260床、横浜羽沢駅南側まで700m) 横浜労災病院(650床、横浜羽沢駅南側まで4.2km)
	現病院からの直線距離	—	隣接	3.5km(新桜ヶ丘東バス停まで)	1.8km(平沼高校前交差点まで)	1.6km(羽沢駅予定地まで)
災害	津波浸水予測(県)	なし	なし	なし	浸水予測区域(浸水深最大2m、一部)	なし
	液状化(液状化マップ)	なし	なし	なし	液状化の可能性の高い地域(一部)	なし

※表内面積は概算